

組立・施工説明書

入隅切り詰め アーバンルーフ レギュラータイプ

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「入隅切り詰め」の組み立て、施工について説明しています。本体の組み立て、施工については本体に同梱の説明書を参照してください。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本書内の表記

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

警告／注意／お願い

表記	意味
 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
お願い	取り扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

その他の表記

表記	意味
 改訂	商品や作業に変更があったことを示しています。必ず変更点を確認のうえ、作業を行ってください。
	作業上の注意していただきたい内容を示しています。
	確認していただきたい内容を示しています。
 ポイント	商品の組み立て・施工を行う際の作業のポイントを示しています。
 電気工事	電気工事士の資格を有する方が行う作業を示しています。
 電動ドライバー禁止	電動ドライバーを使用してはいけないことを示しています。
 シーリング材	必ずシーリングを行っていただきたい箇所を示しています。

もくじ

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
作業前の確認	P.3
同梱一覧	P.3
切り詰め部の決定	P.4
切り詰め・加工	P.5
切り詰め・加工	P.5
本体フレームの施工	P.11
母屋補強材の取り付け	P.11
側枠1 連結金具の取り付け	P.11
母屋の取り付け	P.12
側枠1、側枠2、側枠3の取り付け	P.12
水抜き穴の加工	P.13
屋根部の施工	P.14
屋根ふき材押え1、屋根ふき材押え2、屋根ふき材押え3、 垂木押えの取り付け	P.14
屋根ふき材押えキャップの取り付け	P.14
穴塞ぎシールの貼り付け	P.14
シーリング	P.15

安全にお取り扱いいただくために

⚠ 注意

- 組み立て・施工は、所定のねじを使用し、最後まで締め付けてください。
締め付け不良は、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形しないよう、取り扱いには十分注意してください。
破損、変形した商品を取り付けた場合、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本説明書に記載以外の組み立て、加工など、改造を行わないでください。
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。
ポリカーボネート板へのシーリングは、必ず脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。
(別途手配品)
ポリカーボネート板の接着不良やひび割れ、漏水につながるおそれがあります。
- ねじに塗布されているコーティング剤が皮膚に付着した場合は、石けんでよく洗ってください。
皮膚に直接接触することにより、かぶれが起こるおそれがあります。
口に入ってしまった場合は、すぐに吐き出し医師の診断を受けてください。

お願い

- 屋根の上に乗らないでください。局部荷重により破損や漏水の原因になります。



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全帯、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 作業は各作業工程を考慮して進めてください。
また、国家資格、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
- 作業者が相互に安全、健康状態について確認を行ってください。
- 事故が発生した場合は作業を中断し、安全を確保のうえで、ただちに手当てを行ってください。
- 商品表面にキズがつかないよう、取り扱いには十分注意してください。
キズがつくと、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤溶液(1~2%)を使用してください。
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液は、商品の腐食につながるおそれがあります。

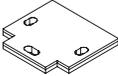


- 部材の切り詰め・加工の際は納まり一覧を参照し、事前に部材の仮配置などを行い切断箇所を確認してください。

作業前の確認

同梱一覧

■入隅用側枠

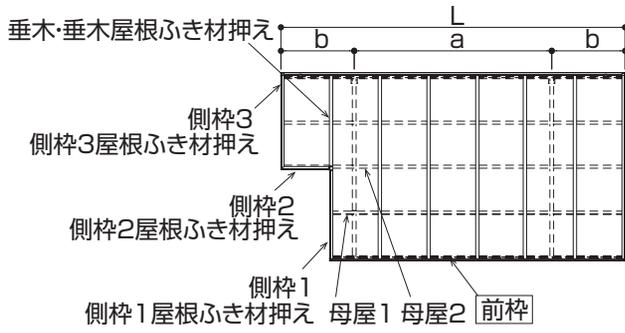
姿 図							
品 名 (単位：mm)	屋根ふき材押え キャップ	側枠1連結金具	穴塞ぎシール (φ14)	トラスタッピン ねじ (φ5×10)	なべドリルねじ (φ5×19)	小トラスタッピン ねじ (φ5×12)	トラスタッピン ねじ (φ5×10)
品 番	5K-14141	3K-18675	K-40433	ET-5010	3K-16449	EM-5012	ET-5010
個 数	1	1	1	2	6	3	19
備 考	屋根ふき材押え 取り付け用	側枠1連結用	側枠1連結金具 取り付け用	側枠1連結金具 取り付け用	側枠取り付け用	屋根ふき材押え キャップ 取り付け用	屋根ふき材押え 取り付け用

■母屋補強材

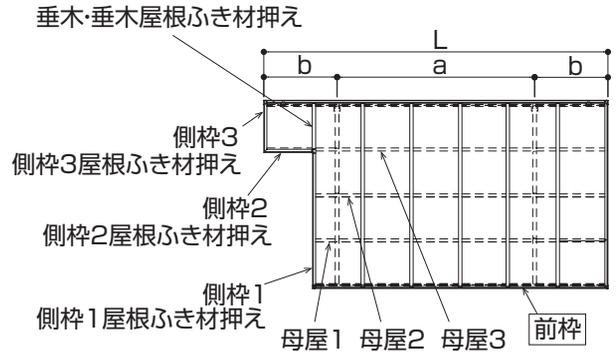
姿 図	
品 名 (単位：mm)	なべドリルねじ (φ5×19)
品 番	3K-16449
個 数	2
備 考	母屋補強材 取り付け用

切り詰め部の決定

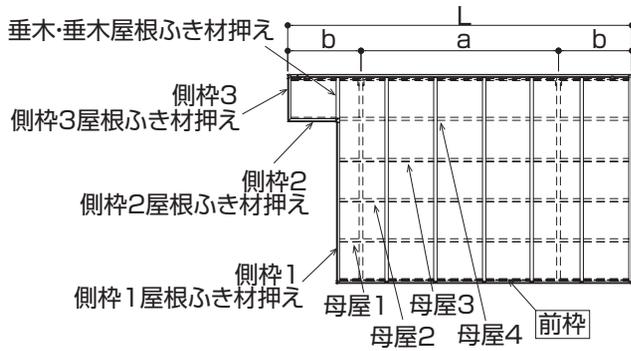
《 2 スパン切り詰め》



《 3 スパン切り詰め》



《 4 スパン切り詰め (5#30 サイズのみ)》

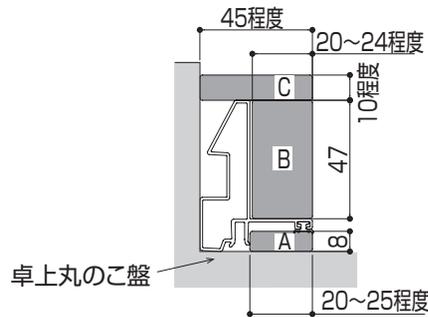


切り詰め・加工

切り詰め・加工

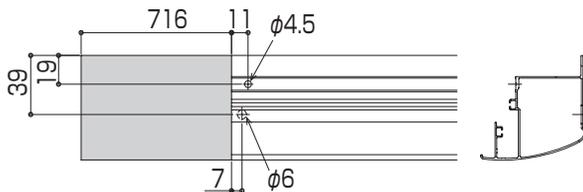


側枠を切断する際は、正確な角度で切断するために、図のように木片や平板(A~C)などを利用し、部材を垂直に固定して切断してください。



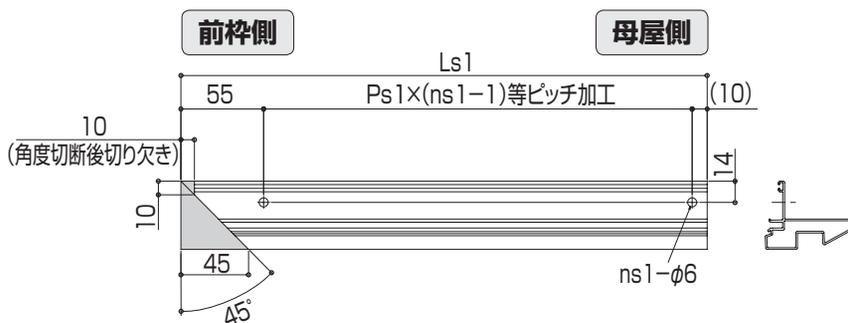
前枠

1. 前枠を切り詰めてください。
2. 前枠に穴加工してください。



側枠 1

1. 側枠 1 を 45° 切断してください。
2. 側枠 1 を切り欠き加工してください。
3. 側枠 1 に穴加工してください。

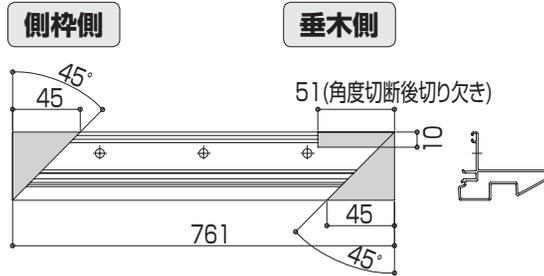


	5#24		5#27		5#30		共通
切り詰め スパン	Ls1	Ps1	Ls1	Ps1	Ls1	Ps1	ns1
2	1178.5		1330.5		1190.0		3
3	1757.8	579.3	1985.8	655.3	1775.0	585.0	4
4	-	-	-	-	2360.0		5

(単位 : mm)

側枠2 (穴加工済み)

- 1.側枠2を45°切断してください。
- 2.側枠2を切り欠き加工してください。



側枠3

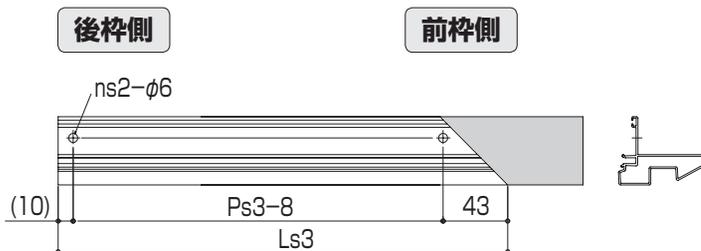
- 1.側枠3を切り詰めてください。
- 2.側枠3に穴加工してください。

《 2 スパンカット : 5#24、5#27、5#30 》
 《 3 スパンカット : 5#30 》



切り詰め スパン	5#24			5#27			5#30		
	Ls2	Ps2	ns2	Ls2	Ps2	ns2	Ls1	Ps2	ns2
2	1203.5	579.3	3	1355.5	655.3	3	1800.0	585.0	4
3	-	-	-	-	-	-	1215.0		3

《 3 スパンカット : 5#24、5#27 》
 《 4 スパンカット : 5#30 》



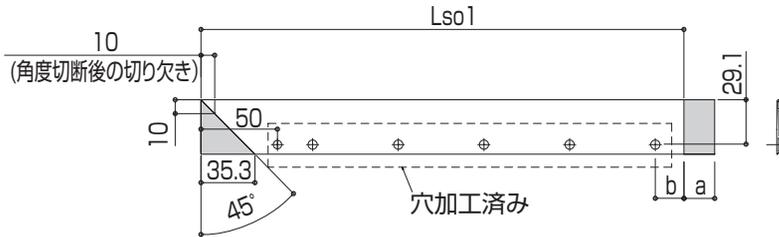
切り詰め スパン	5#24		5#27		5#30	
	Ls3	Ps3	Ls3	Ps3	Ls3	Ps3
2	1203.5	579.3	1330.5	655.3	1800.0	585.0
3	624.3		700.3		1215.0	
4	-	-	-	-	630.0	

(単位 : mm)

側枠1 屋根ふき材押え

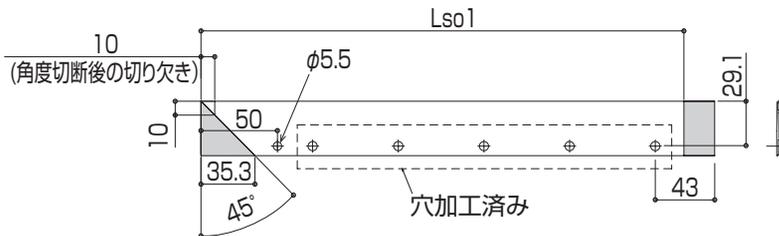
- 1.側枠1 屋根ふき材押えを45°切断と切り詰めをしてください。
- 2.側枠1 屋根ふき材押えを加工してください。

《2スパンカット：5#24、5#30》



切り詰め スパン	5#24			5#30		
	Lso1	a	b	Lso1	a	b
2	1196.5	3	40	1208.0	10	33

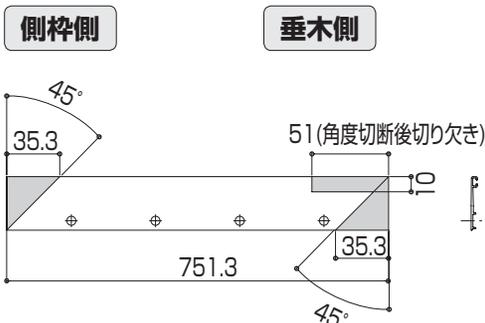
《2スパンカット：5#24、5#30 以外》



	5#24	5#27	5#30
切り詰め スパン	Lso1	Lso1	Lso1
2	-	1348.5	-
3	1775.8	2003.8	1793.0
4	-	-	2378.0

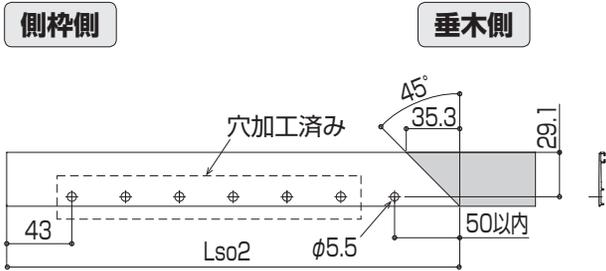
側枠2 屋根ふき材押え（穴加工済み）

- 1.側枠2 屋根ふき材押えを45°切断してください。
- 2.側枠2 屋根ふき材押えを切り欠きしてください。



側枠3屋根ふき材押え（穴加工済み）

- 1.側枠3屋根ふき材押えを45°切断してください。
- 2.側枠2屋根ふき材押えに穴加工してください。

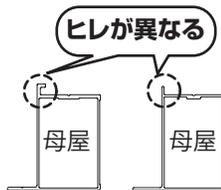


	5#24	5#27	5#30
切り詰め スパン	Lso2	Lso2	Lso2
2	1211.0	1363.0	1807.5
3	631.8	707.8	1222.5
4	-	-	637.5

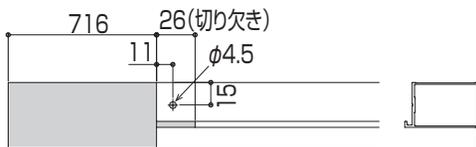
母屋



- 母屋は2種類存在します。
本説明書では例として左側の母屋を取り付ける場合を説明しています。
右側の母屋も同様に切り詰め・加工してください。

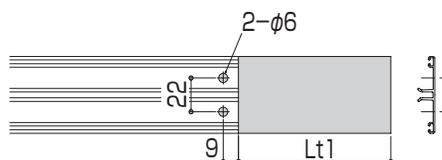


- 1.母屋を切り詰めてください。
- 2.母屋を切り欠き加工してください。
- 3.母屋に穴加工してください。



垂木

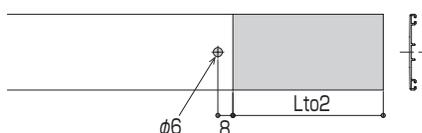
- 1.垂木を切り詰めてください。
- 2.垂木に穴加工してください。



	5#24	5#27	5#30
切り詰め スパン	Lt1	Lt1	Lt1
2	1168.5	1320.5	1180.0
3	1747.8	1975.8	1765.0
4	-	-	2350.0

垂木屋根ふき材押え

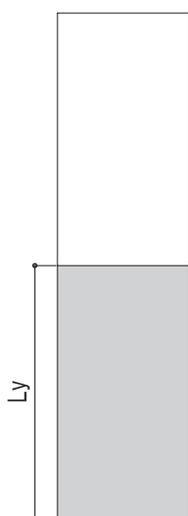
- 1.垂木屋根ふき材押えを切り詰めてください。
- 2.垂木屋根ふき材押えに穴加工してください。



	5#24	5#27	5#30
切り詰め スパン	Lto2	Lto2	Lto2
2	1186.5	1338.5	1198.0
3	1765.8	1993.8	1783.0
4	-	-	2368.0

屋根ふき材

- 1.屋根ふき材を切り詰めしてください。

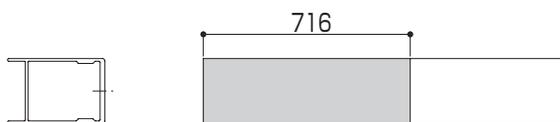


	5#24	5#27	5#30
切り詰め スパン	Ly	Ly	Ly
2	1196.5	1348.5	1208.0
3	1775.8	2003.8	1793.0
4	-	-	2378.0

図は太陽光の当たる面を上にした状態を示しています。

母屋補強材

1. 50##サイズ仕様の場合、母屋補強材を端部より716mm切り詰めてください。

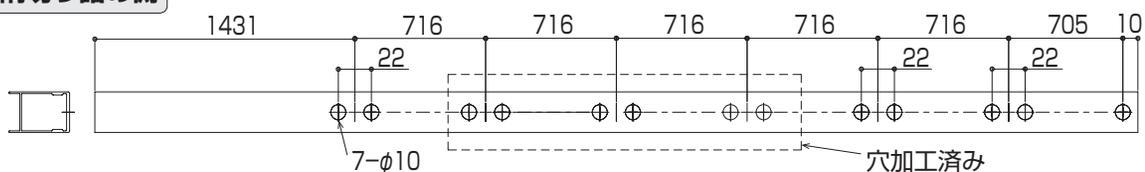


2. 母屋補強材を穴加工してください。

《側枠2取り付け部の母屋に取り付ける場合》

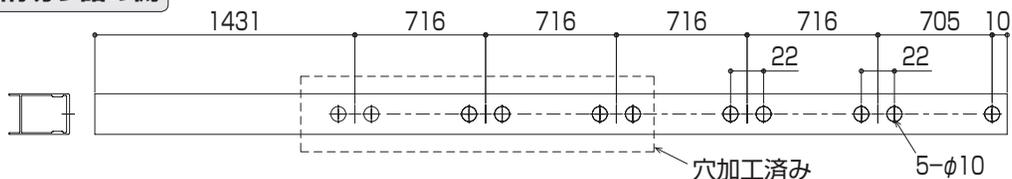
〈57## サイズ〉

入隅切り詰め側



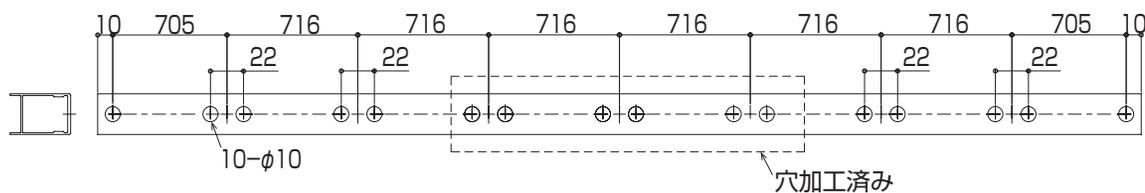
〈50## サイズ〉

入隅切り詰め側

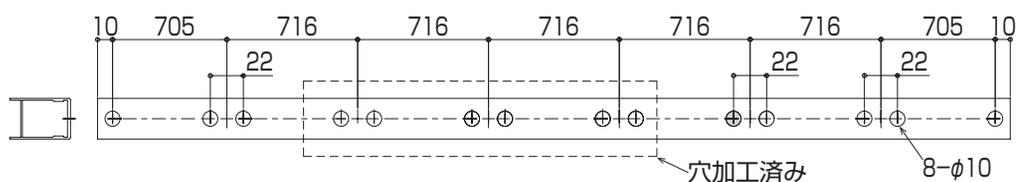


《側枠2取り付け部以外の母屋に取り付ける場合》

〈57## サイズ〉



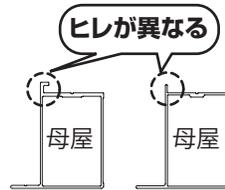
〈50## サイズ〉



本体フレームの施工

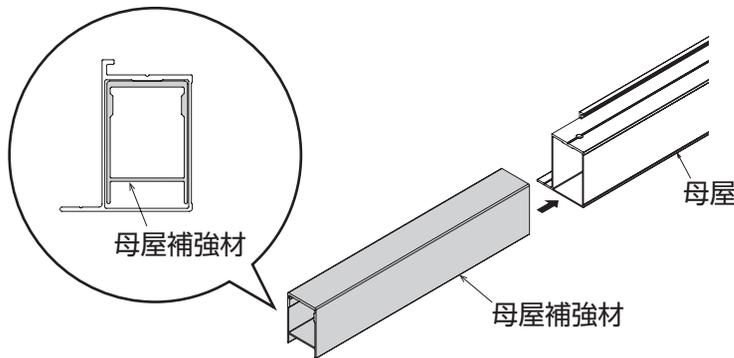


- 母屋は2種類存在します。本説明書では例として左側の母屋を取り付ける場合を説明しています。右側の母屋も同様に取り付けてください。

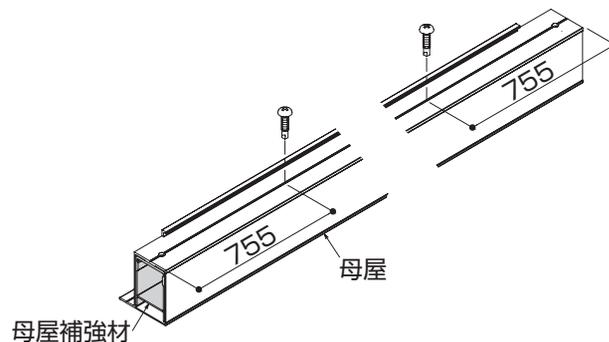


母屋補強材の取り付け

- 母屋補強材の上下の向きを確認し、母屋補強材を母屋に差し込んでください。

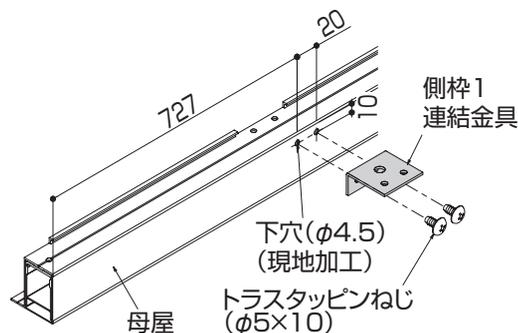


- 母屋補強材を仮固定してください。



側枠1 連結金具の取り付け

- 側枠1 連結金具を母屋に取り付けてください。



(単位：mm)

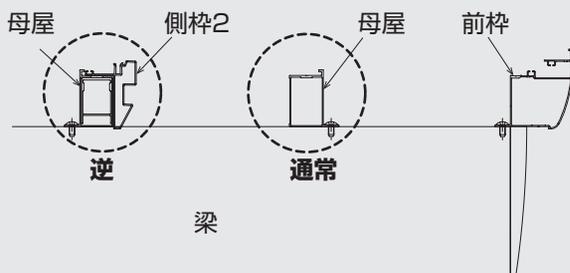
母屋の取り付け

1. 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、母屋を梁に取り付けてください。

側枠2を取り付ける母屋の場合

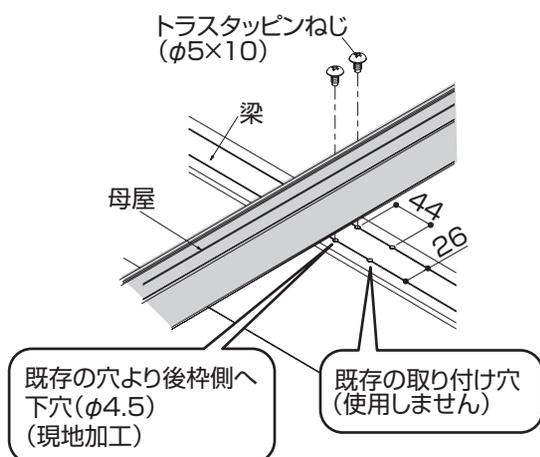


・側枠2を取り付ける母屋のみ取り付け方向が逆になります。



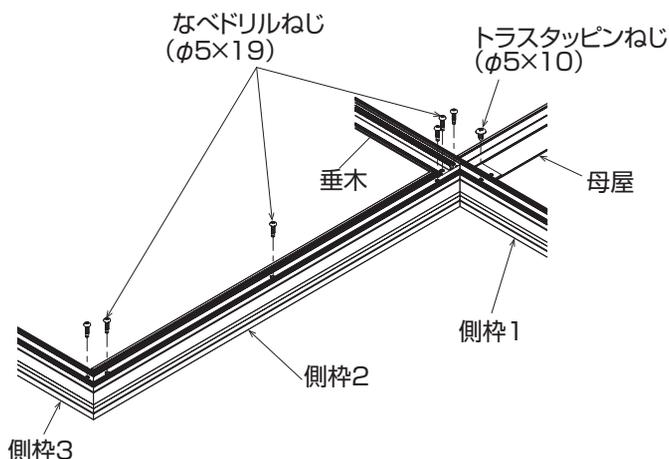
① 梁に下穴 (φ4.5) をあけてください。

② 母屋を梁に取り付けてください。



側枠1、側枠2、側枠3の取り付け

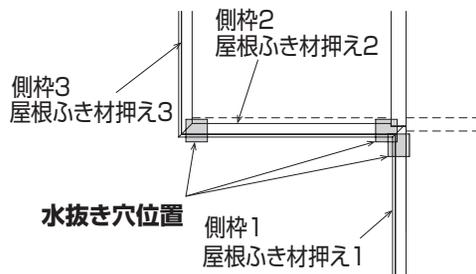
1. 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側枠1、側枠2、側枠3を本体フレームに取り付けてください



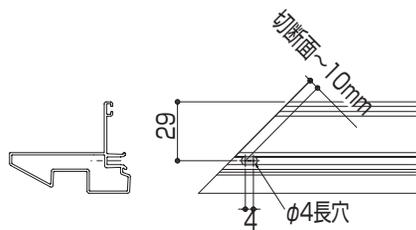
(単位：mm)

水抜き穴の加工

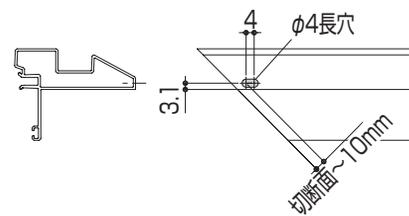
1. 側枠1の端部(後枠側)、側枠2の両端の計3箇所に水抜き穴を加工してください。



《U字溝部》

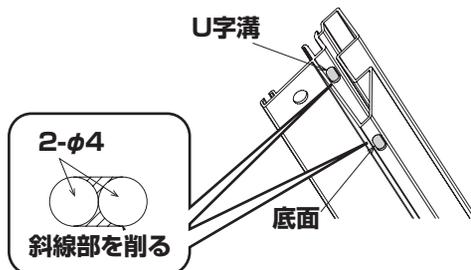


《底面部》



【水抜き穴加工】

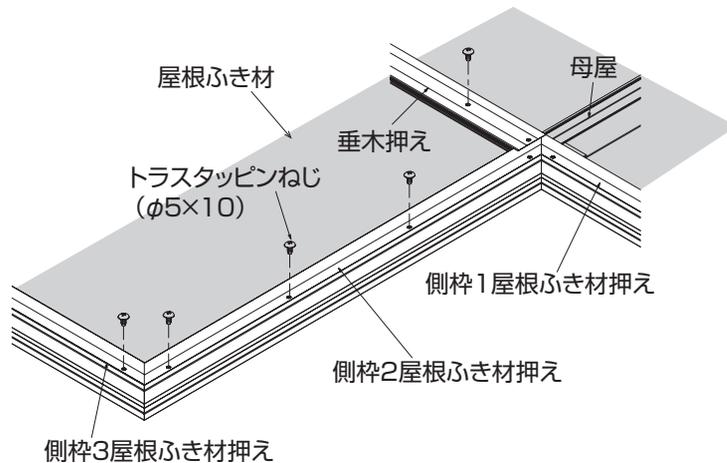
• 水抜き穴(長穴)は先に2つの穴加工(φ4)をした後、図の斜線部をヤスリなどで削ってください。



屋根部の施工

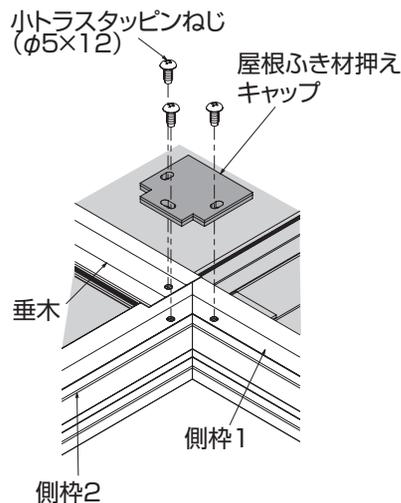
屋根ふき材押え1、屋根ふき材押え2、屋根ふき材押え3、垂木押えの取り付け

1. 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、屋根ふき材、屋根ふき材押え1、屋根ふき材押え2、屋根ふき材押え3、垂木押えを取り付けてください。



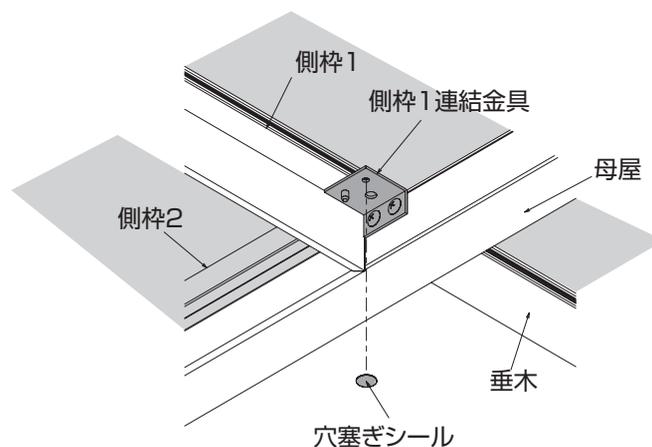
屋根ふき材押えキャップの取り付け

1. 屋根ふき材押えキャップを屋根部に取り付けてください。



穴塞ぎシールの貼り付け

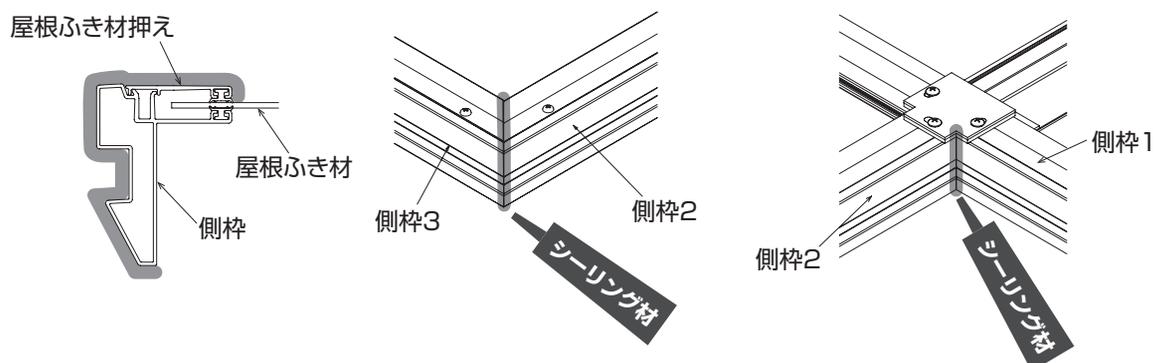
1. 穴塞ぎシールを屋根部の下側から側枠1連結金具の穴に貼り付けてください。



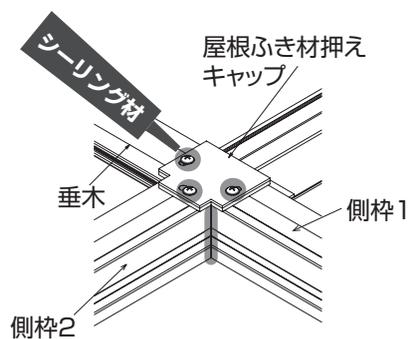
(単位: mm)

シーリング

1.側枠と側枠の接合部にシーリングしてください。



2.屋根ふき材押えキャップのねじ部にシーリングしてください。



3.側枠1、垂木の接合部にシーリングしてください。

